



## SGH校内報告会（職員対象）

平成28年度が始まり気持ちも新たになった4月5日。中学校・高等学校職員116名が集まり、昨年度のSGH事業の成果報告と今年度からの新しい取り組みについて報告を行いました。

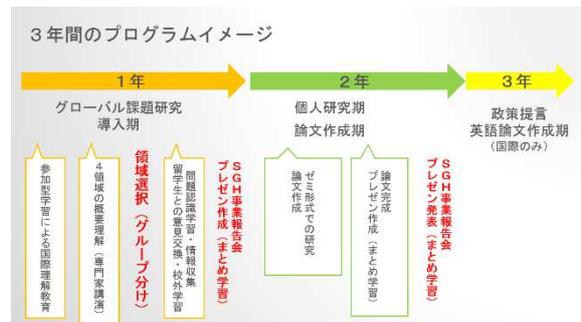
昨年度は、国際コース1年生のみで行われたSGH課題研究ですが、今年度からは啓明コースでも行い、今後は進学・特進コースへも波及させていく予定です。そのためにも、中学校・高等学校職員が一丸となってSGH事業へと取り組んでいく必要があります。今回の報告会で、これまで関わりがなかった職員とも目的・内容・今後のビジョンを共有することができ、大変有意義な時間となりました。

昨年度SGHの指定を受け、1年間試行錯誤を繰り返し、何度も会議を行ってきた成果をもとに、今年度からは新しい取り組みを開始します。国際・啓明コース1年生に対しては、国際理解教育の専門NPOであるNIED・国際理解教育センターと共同開発した本校独自のカリキュラムを使い、アクティブラーニングの手法で「知り・気づき・考え・行動できる人材」を目指した土台作りを行います。国際コース2年生には複数の教員や中部大学大学院生によるゼミ形式の研究と論文指導を行い、個人研究を深めていきます。

新しい取り組みがさらにより良くなるためにも、全校職員また外部（中部大学・地域・企業・外部評価委員など）からの意見も大切にしていきたいと考えています。



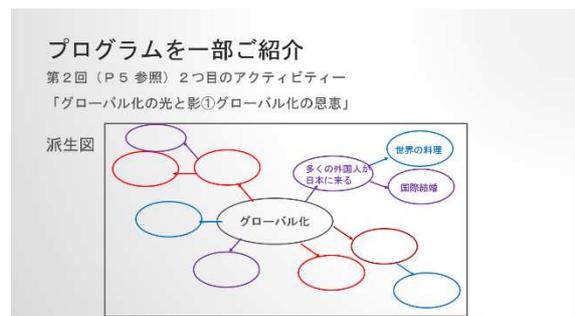
全職員対象に報告



3年間のイメージを共有



昨年度の事業報告



アクティブラーニングの紹介